



うさぎぐみだより

きらら保育園 令和5年6月1日発行

アジサイが、綺麗に色づき始める季節となりました。新年度スタートから2ヶ月が過ぎ、環境の変化や大型連休を経て、子どもたちもすっかり園生活のリズムに馴染んできたように感じられます。毎朝、先生の顔を見ると駆け寄って来てくれ「先生おはよう！」と声を掛けてくます。そして「今日はなにをするの～」と楽しみにしてくれています。友だちのことを誘って一緒に遊ぶ事も増えてきて、手をつないだり、並んで座りおままごとをしたりしています。そして会話を聞いていると、内容がとても大人びていて、びっくりすることがあります。見ていると微笑ましく、とっても可愛い子どもたちです。

先月はお散歩やお砂場あそびなど、外遊びを楽しむことができました。体を動かすことが大好きな、うさぎ組の子どもたち。これからもお天気を見て楽しみたいと思います。



手をつないでお散歩に行っただよ

今までお散歩カーに乗ることが多かった子どもたちですが、先日はお友だちと手をつないで、お散歩に行ってきました。手を離さないことや、歩道にある線の内側を歩くことなどを約束して、さあ出発。横断歩道では信号を確認して「赤信号は？」と聞くと「とまれ！」としっかり答えが返ってきました。「青信号は？」「すすめ！」との答えで、手を上げ渡りました。途中タンポポを見つけ、お土産に持っていくと言って摘んで持って帰ってきました。



初めての粘土

皆が楽しみにしていた粘土遊び！粘土を見ると皆とても喜んで「はやく～、はやく～」とワクワクの子どもたち。粘土板と粘土を渡すと、最初はどのようにいいかわからない子も、先生がちぎったり、丸めたりしてみると、「かたいね～、まるくならな～い」と言いながらも、頑張っておねおねしていました。だんだんと手に馴染んできて、自由に形が作れるようになり「見て～、へびだよ～」「ソフトクリームだよ」と、色々な形を作って楽しんでいました。



お砂場楽しかったよ

お天気の良い日に、お砂場に行ってきました。今年度、一番にうさぎ組が行ったので、砂がふかふかして掘りやすく、気持ちよく楽しめました。スコップを皆上手に使い、大きなお山を作ったり、お皿に盛ったり、コップに入れ「ジュース飲んで～」と持ってきてくれたりしました。バケツに入れて、それをひっくり返し、バケツの型を取ってから、その山を崩すことも楽しそうでした。次の日も、子どもたちから「またお砂場に行きた～い」と話があり、とっても楽しかったことがうかがえました。また行こうね。

